

東京外国為替市場委員会 第 279 回会合 議事録

開催日時	2025 年 3 月 10 日
場 所	日本銀行
議 長	井上 吉康
副 議 長	大澤 孝元
副 議 長	小橋 暁史
書 記	桜 健一
出 席 者	23 名

I. 議長再任の件

任期満了を迎える井上議長から、議長に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

II. グローバル外為行動規範改定について

小橋副議長より、Code Of Conduct 小委員会で進めていた 2024 年版のグローバル外為コードの日本語訳が完了した旨が報告されました。加えて、市場参加者の理解を促進するため、今回のコード改定の概要を日本語で解説した資料も作成した旨が報告されました。これらの資料について、3 月中に東京外国為替市場委のホームページで公表する方針が説明され、全会一致で了承されました。また、日本語訳の公表後、コード遵守先に対して再遵守の検討の働きかけを行っていく方針であることが報告されました。

III. ファンド為替 PVP 化 PT の最終報告書について

大熊委員より、ファンド為替 PVP 化プロジェクトチームでの活動実績をまとめた最終報告書の案についての説明がありました。本邦のファンド為替について、PVP 決済の導入が進捗し、同プロジェクトチームの活動は目的を達成したとの評価が共有されました。また、3 月に行われる同プロジェクトチームの最後の定例会合において議論を行った後、最終報告書を東京外国為替市場委のホームページ上で公表する方針である旨が報告されました。

星野委員より、本邦における各主体の PVP 決済の導入状況に関する評価について質問がありました。平島委員および大澤副議長より、データに基づく評価は困難であるものの、事業法人や保険会社等の外為決済事務については、PVP 決済の導入を普及させる余地があるのではないかとの見解が示されました。

IV. 取引高サーベイ (25 年 4 月調査) に関するご協力依頼

片岡準委員より、「外国為替取引高サーベイ」(2025 年 4 月調査分) への協力依頼がありました。また、調査小委員会での確認作業を踏まえて、取引高サーベイの記入要領を改訂した旨の報告がありました。同改訂については、3 年に 1 度 BIS が実施する「外国為替およびデリバティブに関する中央銀行サーベイ」の 2025 年 4 月調査において、記入要領の明確化(国内支店間取引が報告対象外となることなどを明記)が行われたことに対応したものである点が説明されました。星野委員より、今回の記入要領の改訂が取引高の集計結果に与える影響について質問があり、片岡準委員より、記入要領の改訂を受けて、取引高が減少する可能性がある旨が説明されました。

以 上

東京外国為替市場委員会委員名簿 (3月10日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○井上 吉康	(モルガンスタンレーMUFG証券)
副議長・Eコマース小委員長	○大澤 孝元	(バークレイズ銀行)
副議長・Code Of Conduct小委員長	○小橋 暁史	(みずほ銀行)
書記	○桜 健一	(日本銀行)
運営・オペレーション小委員長	○寺脇 一紀	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○福田 京子	(オーストラリア・ニューズ・ワラント [®] 銀行)
法律・コンプライアンス小委員長	○田中 裕貴	(三井住友信託銀行)
教育小委員長	○高山 典大	(野村証券)
市場調査・バイサイド小委員長	○鈴木 保匡	(三井住友銀行)
	○星野 昭	(シティグループ証券)
	○小林 良平	(JPモルガン・チェース銀行)
	○十時 潤一郎	(上田東短フォレックス)
	○宗川 雄視	(LSEG)
	○平島 圭志	(CLS)
	○大熊 貴之	(野村アセットマネジメント)
	○井上 裕嗣	(BNPパリバ銀行)
	○山崎 照永	(EBSデイトリング・リソースジャパン)

<準委員>

	○星 義浩	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○大原 豪	(三菱UFJ銀行)
	○南 英明	(みずほ銀行)
	○由良 啓輔	(バークレイズ銀行)
	○平田 拓也	(三井住友銀行)
	○片岡 賢治朗	(日本銀行)

<オブザーバー>

	松浦 晃弘	(財務省)
--	-------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。